

網 領 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成15年度 テーマ 「人が人を考える、青年中央会」 30周年を「全員参加」で成功させよう

一年間ありがとうございました

ご報告いたしました



会長

瀧本浩志

今年度は30周年事業の準備の年として役員
 の皆様には大変お世話になりました。
 そして会員の皆さんにも多大なるご協力を
 いただき本当にありがとうございました。
 今年度は全員参加を呼び声に、エモーショ
 ナルブランドに学び「感動のある青年中央会」
 をキーワードにして、どんな青年団体になれ
 ば感動が得られるのか？今の時代に合った魅
 力のある会になるのか？周年事業を構築する
 と同時に会の意識改革・源流強化を含めた周年
 事業の取り組みにチャレンジしてきました。
 現会員の考える青年中央会への期待や思いを
 引き出したC-1戦略を活用したことも大きな
 前進に繋がったものと確信しております。
 県全員で創り上げたキャッチフレーズが新
 しい会の行動指針 時代に挑み、次代を創る。」

味しています。全会員が青年中央会へ求める
 未来像が集約されたキャッチフレーズです。
 このアンケートも会にとつて財産になり、東
 部ではこれからの具体的行動指針として「T
 SCの4つの挑戦」としてのまとめも出来ま
 した。
 30周年は現会員と先輩方の誇りである。
 地域の皆様へは感謝の周年である。
 最後に、現会員の皆様、全員で青年中央会
 を更に誇り高い会にしていきたいと思います。そし
 て30周年を迎えられるのは先輩方の大変な努
 力があつた事と、地域の皆様にも応援してい
 ただいてから30周年を迎えられるという
 感謝の気持ちを忘れないでください。
 本当にこの一年間ありがとうございました。

東・中・西統一事業とし
 てもC-1に取組みまし
 た、各地区全会員で考え
 た青年中央会！という
 会になれば魅力ある会に
 なるのかというアンケー
 トデータをもとに決定し
 たキャッチフレーズ！意
 味は、綱領である、英知・
 友愛・団結のキーワード
 を基盤に「時代を見据え、
 挑戦・創造を繰り返す、さ
 らには、一歩先を見つめ
 歩んでいく当会の姿を意

中部4月例会に
 参加して

総務委員会副委員長
 栗崎正徳

平成16年4月19日、総務委員会は委
 員会活動の一環として西部に続き中
 部例会に参加して参りました。

『少数精鋭』とはよく言ったもので、
 会員数こそ少ないですが、講演中誰一
 人として席を立つ者も無く一心に聞
 き入っている姿を見て、まとまりのあ
 る中部だと実感しました。我々も、
 中・西部の良い所を取り入れ、より良
 い東部にして行きたいと思えます。

講演会では、講師の奥森隆夫氏の力
 溢れるお話を聞き、改めて青年中央
 会の素晴らしさを実感しました。



私たち、平成15年度CI委員会は今年度のまとめ、また、来年度以降の行動指針として、「TSCの4つの挑戦」を提言いたします。

TSCの4つの挑戦

PI（パーソナル・アイデンティティ）を確立する

～勉強会・交流会等を通じ、「人脈づくり」や「スキルアップ」を図る～

- 業種別や委員会の枠を越えた、分科会や勉強会を開催する。
- OBとの交流会（ディスカッション）を定期的で開催する。
- 朝食会・昼食会、休日のモーニング会を開催する。
- 外国語や一般常識（テーブルマナーや礼儀作法等）の講座を定期的で開催する。
- 青年中央会ビル（サロン）の開設を検討する。
- パソコンを活用することにより、情報の共有化やスキルアップを図る。

ビジネスに特化した会を創る

～ビジネスチャンスやビジネスパートナーを発見する～

- 会報誌などを活用し、会員企業のアピールの場を提供する（HPと連動）。
- 青年中央会メンバーズカードを発行し、様々な特典が受けられるシステムをつくる。
- 株式会社青年中央会を起業する。
- 共同受注、購入、製作ができる環境づくりをする。
- 会産会消（会の中での地産地消）をおこなう。
- 会員同士がビジネスパートナーとなり、新事業を立ち上げたり、補完し合う。

青年中央会ブランドを構築する

～ブランドを確立し、ステータスの向上を図る～

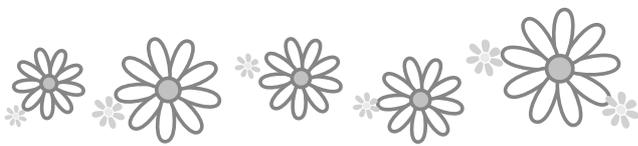
- 日本一あいさつのできる会にする。
- 会を象徴する新しいロゴやマークをつくることで会への想いをカタチにする。
- 入会時に活動内容の説明、理解の充実を図る。
- アンケートを定期的に行い、会の活性化を図る。
- 全国に発信できるイベント（高知よさこいなど）を企画し、知名度を高める。
- 県および市町村との懇話会を定期的で開催する。

魅力ある青年中央会を創る

～例会、委員会活動の充実を図る～

- 例会では委員会ごとに席を決めておく。
- 委員会の一次会はノンアルコールとする。
- 情報の共有化を図り、「全員参加」できる環境づくりをする（合同委員会・オープン委員会等）。
- 入会后2～3年以内には役員を経験するシステムをつくる。
- 例会を録音・録画し、活動の軌跡を残しておく。
- 飲むことも大事だが、大勢での飲み歩き・飲む場所を考える。

第3回



フラワーフェスティバル

in湖山池



例会報告



第3回フラワーフェスティバルについて

アピール委員会副委員長 鳥越 宣孝

4月17日、第3回フラワーフェスティバルを開催いたしました。当日は事前に作成した花壇にチューリップとパンジーが美しく会場を彩り、心配された天気にも恵まれ、汗ばむほどの陽気の中で賑やかに開催する事ができました。

朝8:00に会員の皆様に集合してもらい、セッティングから始まり新しいのぼりを歩道に設置、ふわふわドームの組み立て、パネル作成等々普段は汗をかかない会員の方もこの日は汗をながして協力して頂きました。

9:00よりフラワーフェスティバル開始 会長の挨拶、石谷副市長挨拶のあと記念植樹を行い、スケジュールにそってフェスティバルが進行しました。そして閉会式、直前挨拶、バルーン放天にて無事終了、たくさんのお花と子ども達の笑顔を見る事ができました。夏にはひまわりが美しく咲く事と思います。

会員皆様にはたくさんのご協力ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。



フラワーフェスティバルを終えて

東部青年中央会副会長 岡本 安量

第3回フラワーフェスティバルが、4月17日土曜日、晴天の中行われました。

今年は“花の中でのフェスティバル”という計画で、会員のみなさんには昨年未の準備から、色々なご協力有難う御座いました。

第3回を迎えるにあたり、フラワーフェスティバルとは？種を撒くフェスティバル？という疑問から、立ち上げた新しい企画。大成功で終えたのではないのでしょうか。また、30周年に向けての試験的な面もありました。

たった半日のイベントですが、企画・運営は、それは大変なものです。だが、やり遂げた後の達成感、感動はひとしおであると思います。

ただ、忘れてはならない事は、これから先の維持管理の問題です。夏に咲くひまわり、第4回のフラワーフェスティバル、それに向けて計画を立てて、素敵なお花畑ゾーンを作ろうではありませんか。まだ、第一段階です。

これからも全員参加で、一緒に汗を流し頑張りましょう。今回の大成功を、皆さんと一緒に喜びたいと思います。有難う御座いました。

例会報告

2月例会 「2月例会を終えて」

講師の福島正伸先生に「事業成功の条件」をテーマに2時間半にわたって講演いただきました。実際に全国の起業家スクールの専任講師として、多数の事業立ち上げなど起業家たちの「夢」を実現しつついる人だけにたいへん重みがあり、成功への姿勢とそのノウハウに誰もが引き込まれていました。今回は雇用・能力開発機構鳥取センターと共催のため、アンケートも共同でしたが、「必ず元気になって帰れる」という前評判どおり、経営者、サラリーマンを問わず、過去にない好結果だったとの事です。この結果



を受け、福島先生を講師に、9月から12月の4回にわたる30周年記念の連続講演会が開催されます。例会の興奮さめやらぬ中、「肝心なのはこの講演をわが身にどう役立てるか」だと、講師を紹介いただいた鳥取起業家スクール会員の井上、勝原両副会長が語っていました。聞いた時点から、いかに自分に、そして会社にフィードバックできるかが問われています。

(経営情報委員会委員長 高橋正浩)

例会報告

5月例会（委員会報告会）

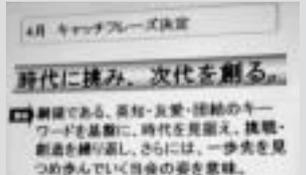
まず、最初に委員長・副委員長の皆様、お疲れ様でした。

リハーサル・データの作成などいろいろとご協力ありがとうございました。途中、パソコンが動かなくなるというハプニングもありましたが、何とか無事に終わることができました。

さて、各委員会の活動はどうだったで

しょうか？それぞれの委員会の特徴がでていてよかったですのではないのでしょうか。次年度もさらさらしい委員会活動報告ができるようみんなでがんばっていきましょうと思います。1年間会員の皆様お疲れ様でした。また、総務委員会の活動にご協力していただきありがとうございました。

(総務委員会委員長 西尾俊一)



委員長交流会報告書

平成16年2月21日(土)~22日(日)ハワイ温泉「羽衣」に於きまして県の交流事業の一環であります委員長交流会が開催されました。事業目的といたしまして、各地区の委員長が一堂に会し、お互いの活動を知り、活動における反省や展望を論じ合うことにより、それぞれがそれぞれに進化するための中央会活動の肥やしにする。また、この機会に相互の懇親を図り、鳥取県



中小企業青年中央会としての英知、友愛、団結をめざす。東部は7委員会の委員長全員に出席していただきました。中部4名、西部8名計19名の委員長が参加され15時~開始、各委員長による3分間スピーチのあと、市位県会長より「進化する青年中央会」というテーマをいただきまして、4グループに分かれグループディスカッションを18時まで行いました。中央会について各グループとも中身の濃い発表で充実していました。19時~懇親会が催され各地区対抗「本物は誰だ」ゲームで盛り上がり、2次会も参加者全員で時間を気にせず語り合いました。非常に有意義な委員長交流会でした。



委員長の皆様、ありがとうございました。

(県出向理事 谷口昌弘)

例会報告

3月例会報告



3月は、総務委員会初の担当例会でした。またこの日は臨時総会も同時に行われ、平成16年度新会長に(有)ミナミ代表取締役の岡本安量会員を満場一致で選出しました。また同時に30周年記念事業収支予算案も提案され、原案通り可決承認されました。

今回の例会は「自分たちの働く町をよくしよう」というテーマを掲げ、我々の意見を同委員会に所属の市会議員の鶴巻会員を通じて鳥取市に提案したいとの思いで企画しました。またそれと共に西尾総務委員長が年度当初より温めていた、委員会を越えた会員相互の交流を図りたいとの主旨のもと、会員に8テーブルに分かれてもらい、観光、行政についてなど、日頃から思っている意見、疑問等を出してもらいました。テーマが重なったため重複意見が多かった等の反省点もありましたが、会員の皆さんがどんなことに関心を持ち、何を望んでいるかが分かったような気がします。これらの意見が鳥取市政に反映されることを期待しています。



(総務委員会担当副会長 浜田泰彦)

例会報告

4月例会報告



さる4月15日(木) 青年中央会企業のIT推進をテーマに有限会社 ネオプランニング 代表取締役の中丸 啓氏を講師に、NTTDコムさんの協賛で4月例会を行いました。

二部構成で、第一部では中丸講師のパワーポイントを用いた携帯サイトの実用例をプレゼンテーション頂き、第二部の体感会ではFOMALレディ3

名を会場に配置して、実際のFOMA端末を使用してもらった実演が行われました。鳥取と広島をテレビ電話でつなぎ、ゲームを交えながら普段の例会とは少し趣向の違う例会となり、楽しんで頂けたのでは(FOMALレディを見てただけでも)と思います。皆さん、ご協力有難うございました。

(IT委員会委員長 麻生聖史)



県親睦事業ウォークラリーに参加して

五月晴れの5月23日、米子市湊山公園に東・中・西の会員(70名程)が集まりウォークラリーが開催されました。東部からは瀧本会長をはじめ総勢23名で参加しました。(さびしい)

ルールは簡単で、スタート地点から、地図の指示に従いゴールまで歩くというもので、途中には、チェックポイントがありクイズに答えなければならず、米子にまつわる問題が多い中、先月決まった青年中央会のキャッチフレーズを書きなさいという問題では、点と丸に気をつけてねと言うアドバイスにも関わらず見事に間違えたチームもあり(私のいたチームも間違えました)皆さんもしっかり覚えてください。



時代に挑み、時代を造る。(点と丸も覚えて)今年度卒業される澤会員のチームが優勝され、いい卒業祝いになったのではないのでしょうか。(もう一人の卒業生伊藤会員のチームは...)

(県出向理事 櫻井幸浩)

INFORMATION

● 7月通常総会 ●

7月15日(木)PM5:00~
ホテルニューオータニ鳥取
(鳳凰の間)

● 30周年記念式典 ●

7月15日(木)PM6:30~
ホテルニューオータニ鳥取
(鶴の間)

● 鳥取県中小企業 青年中央会総会 ●

7月23日(金)
ホテルサンルート米子

● 親子ふれあい ● 24時間

8月21日(土)・22日(日)
砂丘こどもの国

● 新社屋落成 ●

アピール委員会 西根 伸吾
国際交流委員会 平井 義一
経営情報委員会 河本 智宏